

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算の概要

2025年11月11日
 高知銀行





貸出金残高

7,358億円

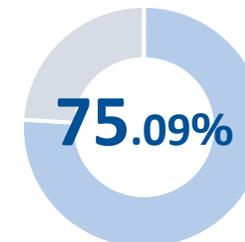
前年同期末比 ▲46億円

中小企業等に対する貸出金残高

5,525億円

前年同期末比 ▲103億円

中小企業等に対する貸出金割合



預金等残高

1兆338億円

前年同期末比 + 88億円

有価証券残高

3,106億円

前年同期末比 +40億円

預り資産残高

1,278億円

前年同期末比 +149億円

コア業務純益

9億52百万円

前年同期比 ▲1億26百万円

中間純利益

1億77百万円

前年同期比 ▲7億26百万円

自己資本比率

8.90%

(国内基準 4.00%)

前年同期末比 +0.34ポイント

損益の状況

(単位：百万円)

	2025年9月期	2024年9月期	前年同期比
経常収益	9,889	9,542	347
業務粗利益	6,282	6,262	20
資金利益	6,434	6,530	△96
役務取引等利益	414	555	△141
その他業務利益	△566	△823	257
経費	5,794	5,773	21
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	487	489	△2
コア業務純益	952	1,078	△126
コア業務純益（投信解約損益を除く）	931	1,018	△87
一般貸倒引当金繰入額	70	-	70
業務純益	416	489	△73
臨時損益	154	793	△639
不良債権処理額	669	8	661
貸倒引当金戻入益	—	89	△89
償却債権取立益	181	19	162
株式等関係損益	643	715	△72
経常利益	570	1,282	△712
特別損益	△62	△33	△29
税引前中間純利益	508	1,249	△741
中間純利益	177	903	△726
実質与信費用	558	△100	658

※ 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

Point

◎コア業務純益は、その他業務利益（国債等債券損益を除く）が1億32百万円改善したものの、役務取引等利益および資金利益が減少したことなどから前年同期比1億26百万円減少して9億52百万円となりました。

◎経常利益は、実質与信費用が増加したことなどにより前年同期比7億12百万円減少して5億70百万円となりました。



中間純利益の前年同期対比

前年同期比で、貸出金利息が主に利回り上昇により増加し、有価証券利息配当金も増加したものの、主に利回りの上昇から預金等の支払利息が増加しました。さらに、実質与信費用が大口事案により増加したことで、中間純利益は減少しました。

中間純利益の前年同期対比



貸出金の推移

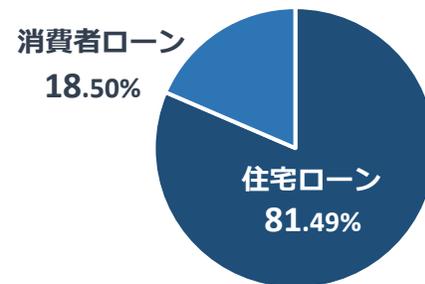
金融仲介機能を発揮して地域中小企業の資金繰支援やさまざまなニーズに対し真摯に取り組んでまいりました結果、貸出金残高は運輸業・郵便業、不動産業・物品賃貸業、建設業等が増加、一方で金融業・保険業、製造業、卸売業などが減少し、全体では前年同期末比46億円減少して7,358億円となりましたが、平均残高は117億円増加し7,424億円となりました。

貸出金平均残高

7,424 億円 前年同期末比 **+117億円**



個人ローンの内訳



個人ローン残高：1,175億17百万円

高知県内向け貸出金残高の推移

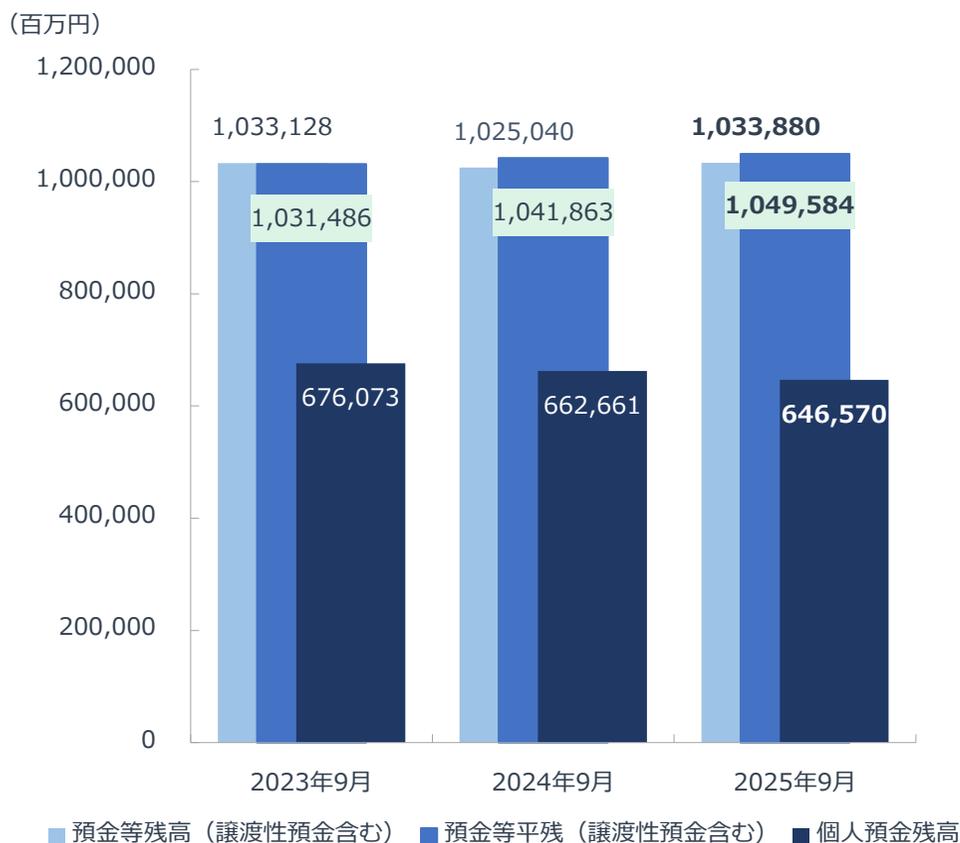


預金等の推移

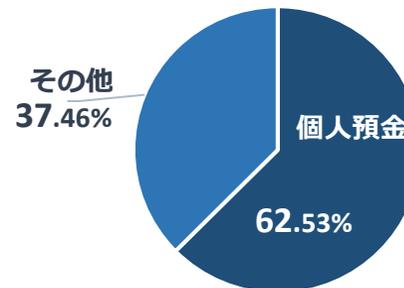
個人預金等が金利志向や投資意欲の高まりなどから減少し、法人預金も減少しましたが、公金預金が増加したことから、残高は前年同期末比88億円増加し、平均残高は77億円増加して1兆495億円となりました。

預金等平均残高

1兆495 億円 前年同期末比 **+77億円**



個人預金の割合



高知県内向け預金残高の推移

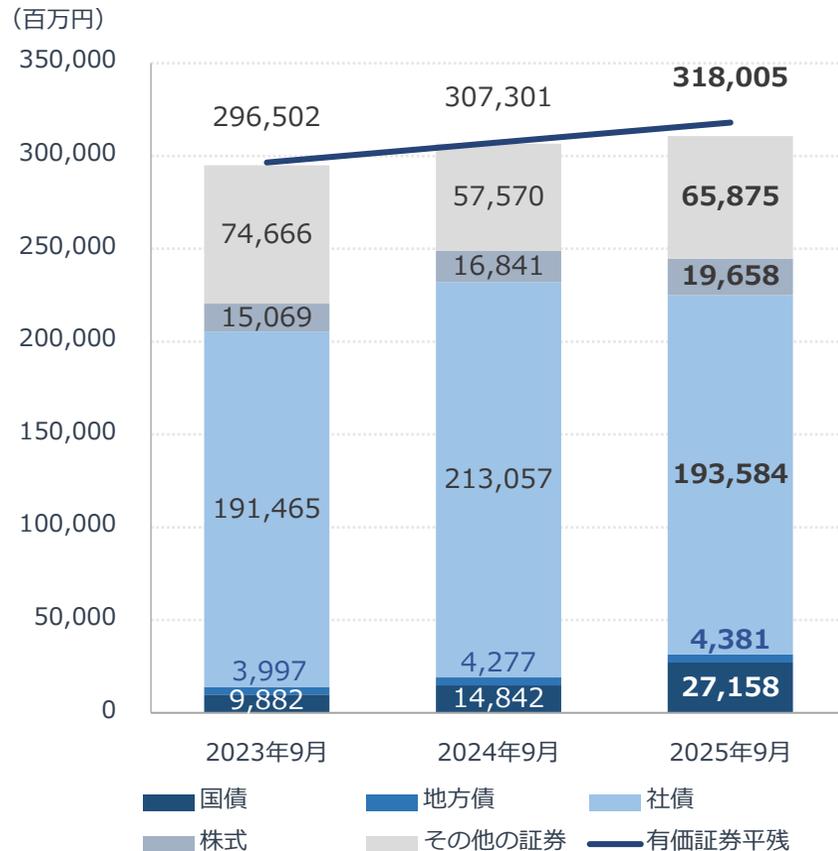


有価証券の推移

有価証券は、社債が公社公団債の償還により減少しましたが、利回りが上昇している国債・地方債を増加させたほか、株式やその他の証券（投資信託）を積み増し、有価証券全体では残高は40億円、平均残高は107億円増加しました。

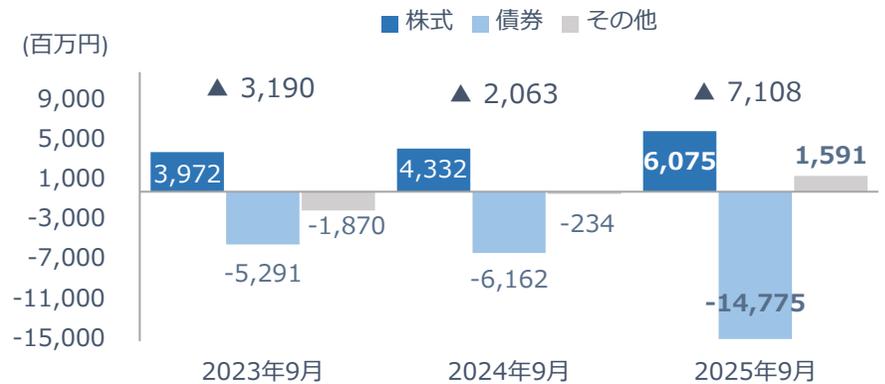
有価証券平均残高

3,180億円 前年同期末比 **+107億円**



有価証券評価損益

▲71億円 前年同期比 **▲50億円**



円貨建債券のデュレーション (満期保有除く)

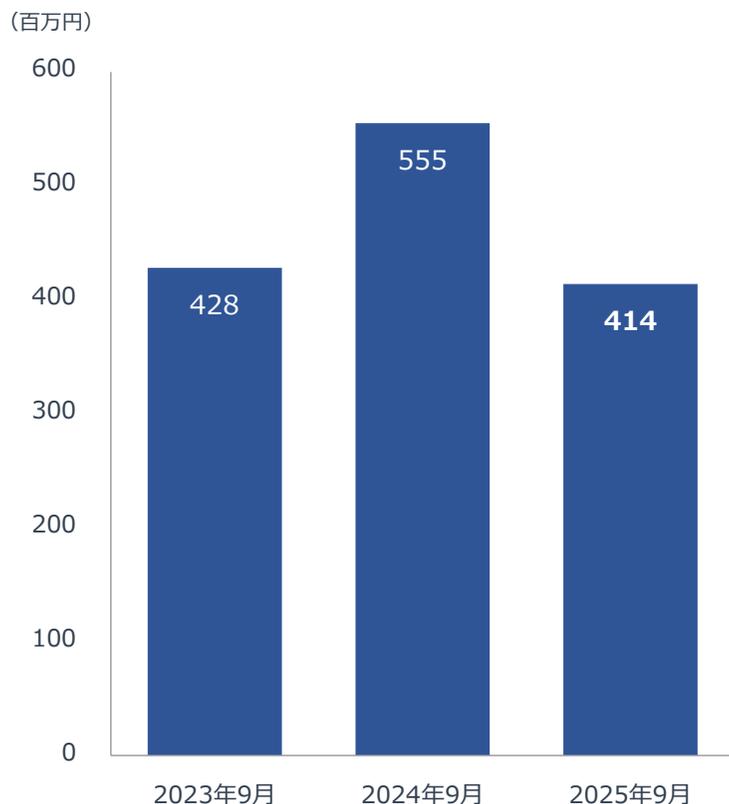


役務取引等利益の推移

事業者向けソリューションの提供やお客さまの立場に立った金融商品のご提案に取り組んでまいりましたが、金融商品の販売手数料が減少したことなどから、役務取引等利益は前年同期比1億41百万円減少して4億14百万円となりました。

役務取引等利益

4億14百万円 前年同期比 ▲1億41百万円



預り資産残高の推移

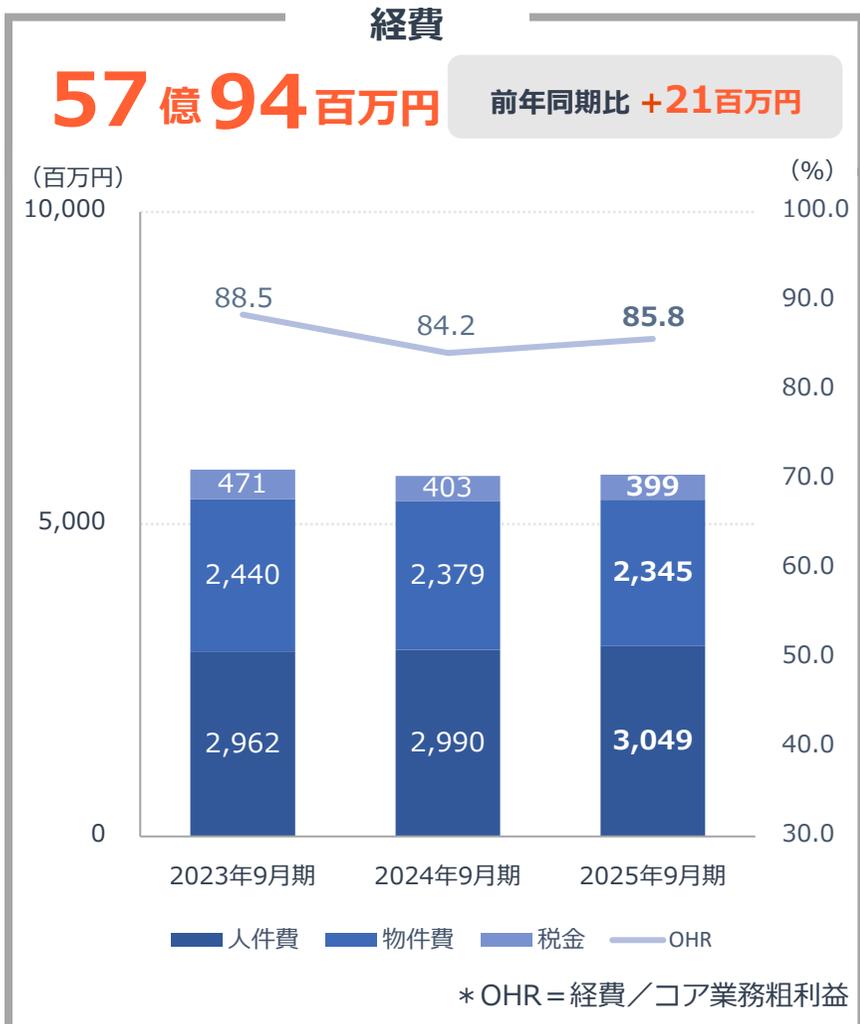


ソリューション提供件数の推移



経費・職員数・店舗数

物件費や税金が減少しましたが、職員の処遇改善により人件費が増加したことから、前年同期比21百万円（0.36%）増加して57億94百万円となりました。ランチ・イン・ランチ方式による店舗統合後の営業拠点は57拠点となっております。



※コア業務粗利益：業務粗利益から国債等債券損益を除いた利益

金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況



- 要管理債権
- 危険債権
- 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
- 金融再生法開示債権およびリスク管理債権の総与信額に占める割合

自己資本比率



- リスクアセット
- コア資本
- ▲ 自己資本比率

中期経営計画の進捗状況

2025年度中間期におけるKPIは、ウェルビーイングカテゴリをはじめとして概ね順調な進捗状況であるものの、渉外総活動時間および渉外総活動時間に占める主要業務取組時間率の項目に改善余地があります。各種営業店事務の本部集中化やBPRにより業務効率化を推進するとともに、本年7月より導入した高知県内4区分化など渉外体制の見直し施策について、よりスピード感をもって進めることなどで改善を図ってまいります。

地域と共にわくわくする「みらい」を創るKPI

*1 計画進捗率の定義は以下のとおり。

- ①：2026年度計画に対する当年度実績の進捗率
- ②：2026年度計画に対する2023年度実績からの進捗率
- ③：2026年度計画に対する2024年度以降の実績の進捗率

*2 主要業務・・・事業性融資、法人ソリューション、資産運用、消費者ローン

カテゴリ	KPI項目 算出方法	2023年度 実績	2026年度 計画	2025年度 中間期実績	計画進捗率*1
こうぎん ウェルビーイング KPI	職場ワークライフバランス満足度 それぞれの年度について、(満足している行員数) ÷ (全行員数)	67%	75%	74%	99.0%①
	有給休暇取得率 それぞれの年度について、(有給休暇取得日数) ÷ (有給休暇付与日数)	60%	80%	39%	49.6%①
	行員向け研修・セミナー受講者数 (2026年度の受講者数) ÷ (2023年度の受講者数)	—	130%	140%	107.7%②
こうぎん 活動量KPI	ミドルオフィスセンターでの預金関連事務時間比率 センター処理対象の預金関連事務について、(センター内処理時間) ÷ (総処理時間)	—	40%	12%	32.2%③
	紙帳票削減率 (2026年度までに削減した紙帳票年間使用枚数) ÷ (2023年度の紙帳票使用枚数)	—	▲70%	▲35%	50.4%②
	渉外 総活動時間 (2026年度の総活動時間) ÷ (2023年度の総活動時間)	—	270%	112%	7.4%②
お客さまとの コミュニケーション KPI	渉外総活動時間に占める主要業務* 取組時間率 それぞれの年度について、(主要業務取組時間) ÷ (渉外総活動時間)	60%	85%	65%	22.0%①
	法人セミナー参加事業者数 (法人IB等含む) (2026年度の法人セミナー参加事業者数) ÷ (2023年度の法人セミナー参加事業者数)	—	140%	82%	59.0%②
	個人セミナー参加者数 (職域・アプリ含む) (2026年度の個人セミナー参加者数) ÷ (2023年度の個人セミナー参加者数)	—	140%	54%	38.6%②
	営業店によるライフプランニング訪問件数 (実数)	—	2,400件	1,664件	69.3%③
お客さまとの みらい創造KPI	経営相談受付件数 (2026年度の経営相談受付件数) ÷ (2023年度の経営相談受付件数)	—	200%	78%	39.1%②
	ソリューション成約率 それぞれの年度について、2024年度における(ソリューション成約件数) ÷ (経営相談受付件数)	26%	30%	21%	71.6%①
	アプリDL先数 (2026年度までのアプリDL件数) ÷ (2023年度までのアプリDL件数)	—	+320%	+120%	37.7%②
	でんさい契約先数 (2026年度までのでんさい契約先数) ÷ (2023年度までのでんさい契約先数)	—	+460%	+64%	13.9%②

中期経営計画の進捗状況

2025年度中間期におけるKGIは、総預金平均残高については金利志向や投資意欲の高まりなどから計画を下回り、貸出金平均残高についても業種や地域ごとの資金需要の違いやKPI渉外総活動時間の不足などから計画を下回りました。また、与信費用が一過性要因により増加したことなどから、収益関係数値も計画を下回りました。前頁KPIの説明に記載しました改善策を推進し、地域の事業者さまや個人のお客さまへのソリューションを強化して地域経済の活性化に貢献するとともに、当行の業績についても挽回に努めてまいります。

- *1 計画進捗率の定義は以下のとおり。
 ①：2025年度計画に対する2023年度実績からの進捗率
 ②：2025年度計画に対する実績の進捗率
 *2 顧客向けサービス業務利益 = 貸出残高×預貸金利回り差 + 役務取引等利益 - 営業経費

計画数値 (KGI)

	前計画	計画 (第I期)					計画 (第II期)	
	2023年度実績	2024年度計画	2024年度実績 (計画達成率)	2025年度計画	2025年度 中間期実績	2025年度 計画進捗率*1	2026年度 計画	2029年度 計画
総預金平均残高 (億円)	10,272	10,600	10,313 (97.3%)	10,900	10,495	35.6%①	11,100	11,300
貸出金平均残高 (億円)	7,328	7,500	7,336 (97.8%)	7,600	7,424	35.2%①	7,650	7,800
有価証券平均残高 (億円)	2,968	3,100	3,115 (100.5%)	3,300	3,180	63.7%①	3,500	3,500
コア業務純益 (投信解約損益を除く) (百万円)	1,631	1,810	2,088 (115.3%)	2,500	931	37.2%②	3,800	5,000
当期純利益 (百万円)	1,140	720	790 (109.7%)	1,190	177	14.9%②	2,090	2,900
顧客向けサービス業務利益 (百万円) *2	▲1,068	▲1,080	▲1,074 (100.4%)	▲760	▲771	98.4%②	10	800
OHR (コア業務粗利益ベース) (%)	83.8	86.4	84.3	82.8	85.8	—	75.9	69.5
自己資本比率 (%)	8.3	8.7	8.8	8.6	8.9	—	8.7	8.0
ROE (当期純利益/株主資本) (%)	2.1	1.3	1.4	2.1	0.3	—	3.7	5.0



親子で学ぶ防災体験セミナー

南海トラフ地震などの大規模な災害の発生に備えるため、当行と防災教育に関する連携協定を締結している地元企業2社との共催により「親子で学ぶ防災体験セミナー」を開催し、小中学生と保護者ら120名にご参加いただきました。

防災に関する講演、炊出し、重機見学と搭乗体験、ドローンの活用、仮設住宅等についてクイズも交えて紹介し、防災対策の大切さを学んでいただきました。



外国人材の活用をサポート

高知県内企業の外国人材受け入れや定着化に向けた支援を強化するため、高知県中小企業団体中央会と外国人材支援に関する連携協定を締結いたしました。

人口の減少に伴う労働力不足を背景に外国人材の採用を検討する企業が増加傾向にある状況をふまえて、高知県中小企業団体中央会と連携し外国人材に関する情報発信を強化することで、外国人材の受け入れ促進と定着化を支援してまいります。



「プラチナえるぼし」の認定取得



当行は、女性活躍推進法に基づくえるぼし認定企業のうち、取り組みの実施状況が特に優良な企業として、四国の金融機関では初となる「プラチナえるぼし」の認定を受けました。



▶ 地元高知のビッグイベント よさこい祭りに例年参加

地域振興および社会貢献活動の一環として、地元高知のビッグイベント「よさこい祭り」に例年参加しております。



▶ メインパートナーとして 高知ユナイテッドSCを応援

高知ユナイテッドSCのメインパートナーとして、当行冠試合「こうぎんビビッドマッチ」の開催や、キャンペーン定期預金の発売等を通じてサポートしております。



©Kochi United SC / Sawa.F

こうぎん
高知ユナイテッドSC 応援積立定期預金「アシスト」
取扱期間 2025年 2026年
10月1日(金)～3月31日(木) **0.10%** + さらにチームに
運営資金を寄付!
お申し込みは
窓口へ



本資料には、業績に関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により予想数値と異なる可能性があることにご留意くださいますようお願いいたします。



本資料に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

経営統括部 広報担当 TEL (088) 871-7115

<https://www.kochi-bank.co.jp/>